

令和 4 年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

福島県

| | |
|---------|--|
| 行事名称 | 「第 69 回文化財防火デー」文化財防火訓練 |
| 実施期間・日時 | 令和 5 年 1 月 29 日（日） 午前 10 時 15 分～午前 11 時 30 分 |
| 実施場所 | 国指定重要文化財「旧伊達郡役所」（福島県伊達郡桑折町字陣屋 12） |
| 主催者 | 桑折町・桑折町教育委員会・桑折町消防団 |

■実施内容

訓練の想定

旧伊達郡役所 2 階バルコニー付近より出火、建物内に複数の入館者がいる状況を想定。

訓練の内容

桑折町文化記念館職員が、火災発見、通報、避難誘導、初期消火の訓練を実施。

桑折町消防団、消防署による放水訓練を実施。

参加者（文化財保存会、女性防火クラブ、近隣町内会、子どもなど）が放水体験、消火体験を実施。

参加者及び役割分担

桑折町文化記念館職員（2 名）：通報、避難誘導、初期消火

桑折町消防団（53 名）：訓練統括、情報伝達訓練、放水訓練、交通整理、体験指導、広報活動等

伊達地方消防組合西分署（8 名）：放水訓練、消火器取扱指導、消防車見学

福島北警察署桑折分庁舎（2 名）：交通整理

桑折町女性防火クラブ（8 名）：避難者役、消火訓練体験

桑折町文化財保護審議会・文化財保存会（18 名）：訓練立会い、放水訓練体験

桑折町議会、地元住民（23 名）：立会い、消火訓練・放水訓練体験

桑折町役場職員（12 名）：訓練統括、記録、交通整理、庶務

特に工夫した点

- ・消防到着前の初動、初期消火が重要なため、非常時の際の役割分担、機械操作の確認を入念に実施。
- ・消防署、消防団と入念に打合せを実施し、水利・動線を改めて確認した。
- ・実際の火災を想定し、消防署のはしご車を出動させた。
- ・消防団により、団員募集、火災報知器の設置周知チラシを配布。地域防災力・防火意識の向上に努めた。
- ・例年の参集範囲だけでなく、町内各小学校、幼稚園、保育所に訓練を周知し、例年以上に訓練の重要性、各家庭における防災・防火の啓発が実施できた。

問題点・課題

- ・訓練当日は、積雪・降雪もあり、事前の除雪を実施した。消防車等が消火活動を迅速に行うためには、平時から施設内だけでなく、近隣水利周辺についても、除雪を行っておく必要がある。
- ・消防団は、人員の変更も多い為、常に情報共有を行う必要がある。

その他

新型コロナウイルス感染症や、旧伊達郡役所が令和 3 年・4 年の福島県沖地震で大きく被災したことにより、3 年ぶりの開催となった。国指定重要文化財「旧伊達郡役所」で当訓練を実施することで、消防団にとっては、日頃の訓練の成果を地域住民に披露する場となっている。また、地域住民に対しても、防災・防火の意識啓発の良い機会となっている。

訓練風景

